

職場で聞けない心理検査の授業

大六一志先生が語る心理検査

解釈と支援



12/1日
10:00-16:00

オンライン zoom



日本臨床発達心理士会
茨城支部支部長
大六一志先生

お申込期間

2024年9月18日(水)～11月27日(水)

参加対象

医師 心理士 看護師など医療従事者 障害福祉スタッフ
教育関係者 大学院生

参加料金

11,000円^(税込) ※学生は半額です

研修会内容

WISC 知能検査は、米国では 2014 年より WISC-V が使用されており、日本版は 2022 年 2 月に刊行されました。知的能力の個人内差（得意不得意）の特徴を把握できることから、知的障害、発達障害のアセスメントに広く活用されています。知能検査というと数値が目されがちですが、実際には WISC の数値だけでは正しい解釈にたどりつけないことが多く、他検査の結果、および行動観察や背景情報も収集することが不可欠です。得点が高いとか低いとかいうことを報告したり、それを教科書通りの何パターンかの解釈に置き換えたりするだけでは、WISC を活用したとは言えません。

そこで、本研修会では FSIQ および指標得点を中心に、典型的な解釈とそのメカニズム、日常での現れ、支援法・補償法をパッケージ化してお伝えしようと考えています。

お申し込みは
こちらから ▶▶



お申し込みフォーム

<http://epsilon.jp/event/202412seminar/>



医療法人イプシロン臨床心理研究会